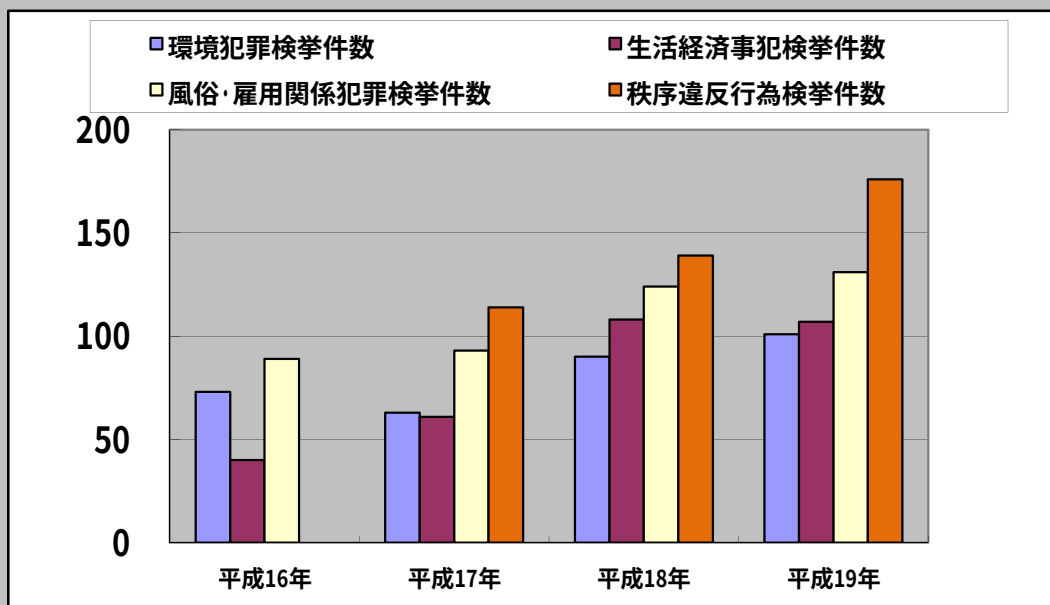


## 業務名

## 生活環境犯罪対策の推進

## ○業務に関する統計

| 項 目           | 統 計 の 推 移 |       |       |       |    |
|---------------|-----------|-------|-------|-------|----|
| 環境犯罪検挙件数      | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|               | 73        | 63    | 90    | 101   | 件  |
| 生活経済事犯検挙件数    | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|               | 40        | 61    | 108   | 107   | 件  |
| 風俗・雇用関係犯罪検挙件数 | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|               | 89        | 93    | 124   | 131   | 件  |
| 秩序違反行為検挙件数    | 平成16年     | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 単位 |
|               |           | 114   | 139   | 176   | 件  |



## ○業務の主なコスト

| №   | 事 業 名       | 平成19年度事業費 (千円) | 平成20年度事業費 (千円) |
|-----|-------------|----------------|----------------|
| 1   | 生活安全警察費     | 13,672         | 12,058         |
| 2   | 生活安全警察活動推進費 | 7,212          | 7,105          |
| 3   |             |                |                |
| 4   |             |                |                |
| 5   |             |                |                |
| 6   |             |                |                |
| 7   |             |                |                |
| 8   |             |                |                |
| 合 計 |             | 20,884         | 19,163         |

## ○平成19年の取組み

### 【環境犯罪関係】

●法人及び会社幹部等による産業廃棄物（有機物残渣）の不法投棄事件に関し、関係府県と合同捜査協定を締結し捜査に着手するなど、廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反で100件102名を検挙した。

### 【生活経済関係】

●「ヤミ金融事犯集中取締本部」を中核として、徹底した金融事犯の取締りを推進した結果、北勢地方の多重債務者を中心に、高金利で金銭の貸付けをして暴利を得ていた元消費者金融支店長1名を貸金業法（無登録営業等）、出資法（超高金利契約等）及び組処法（取得事実の仮装）違反により検挙したほか、7事件12名を検挙した。

### 【風俗・雇用関係】

●風俗環境悪化の根源となっている悪質な風俗・雇用関係事犯の取締りを重点的に取り組んだ結果、正規の風俗営業（2号）を仮装し、店内でホステスに売春をさせていた経営者等を売春防止法（場所提供業等）違反で検挙したほか、児童ポルノを含むわいせつDVD等を販売していた業者を多数検挙する等、風俗環境の浄化を図った。

### 【秩序違反関係】

●歓楽街対策の一環として、改正迷惑防止条例（平成19年4月1日施行）を駆使して、積極的に客引き・客待ち行為に対する中止命令を発出するとともに、盗撮、刃物の携帯等、街頭犯罪に発展するおそれのある行為を看過することなく徹底して検挙し、街頭犯罪や侵入犯罪の未然防止に寄与した。

## ○課題と平成20年の取組み

### 【環境犯罪関係】

●三重県は、近畿圏と中京圏に挟まれた地理的条件から、県境付近に産業廃棄物が不法投棄されやすい環境にあり、また過去に産業廃棄物が不適正処分され近隣の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある事案（負の遺産）が、現在11箇所あるなど、環境問題は深刻な状況にあることから、既設の「環境犯罪対策室」を中心に、環境行政部局等と連携を一層強化し、環境犯罪の未然防止と環境破壊の拡大防止に向けた迅速な取締りを推進する。

### 【生活経済関係】

●多重債務者等を対象に高金利貸付けを行っているヤミ金融事犯、食品における原材料の虚偽表示等食の安全にかかる事犯、ビデオ等を違法に複製した海賊版や偽ブランド商品販売事犯等が大きな社会問題となっているほか、利殖を口実に顧客を騙す資産形成事犯等、消費者を取り巻く環境は依然として厳しく、犯行手口も悪質・巧妙化、広域化している状況にあることから、関係機関・団体等の連携を強化し、被害実態の早期把握に努めるとともに、県民生活を直接侵害する事犯の取締りを重点的に推進する。

### 【風俗・雇用関係】

●善良な風俗と清浄な風俗環境を保つために、売春・わいせつ事犯や不法残留外国人雇用事犯及び無許可風俗営業など多様化する悪質な犯罪の取締りを重点的に推進する。また、風俗実態を的確に把握するよう積極的な情報収集を図り、各種法令を多角的に適用して悪質な雇用主やブローカー等の黒幕を検挙し、犯罪収益のはく奪や重い刑罰が科せられるように努める。

### 【秩序違反行為】

●刃物、侵入器具の携帯等の街頭犯罪の手段となり、または街頭犯罪に発展するおそれのある秩序違反行為が平然と行われている現状を踏まえ、これらの秩序違反行為については看過することなく、先制的かつ徹底した取締りを推進する。